

全国のご当地プレートの一覧パネル展示

～霞ヶ関・中央合同庁舎第2号館にて～

しみずきよこ
清水希容子

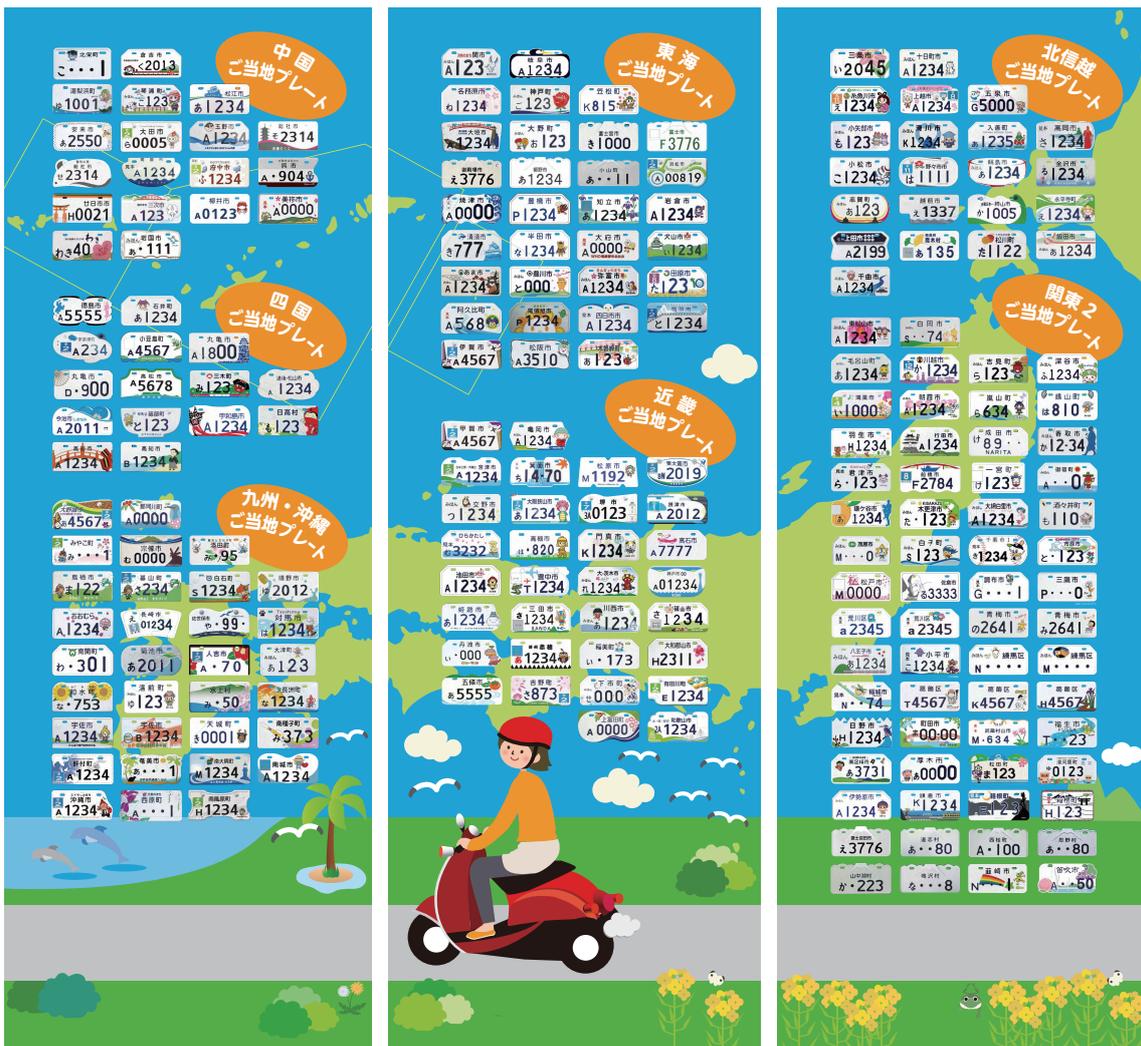
一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

1. はじめに

当財団 地域未来研究センターは、総務省の協力を得て、2014年7月14日(月)から8月1日(金)の3週間、霞ヶ関・中央合同庁舎第2号館（総務省等が入居）の1階玄関ロビーにて、全国のご当地プレート（原付バイクのデザインナンバープレート：画像）の一覧パネルを展示した。

2. 全国の285プレートが一堂に

ご当地プレートには、名産品、景勝地、キャラクターなど、地域の特徴あるコンテンツがデザインされている。2007年7月に松山市（愛媛県）が「坂の上の雲」をモチーフとした“雲形”のナンバープレートを導入してから徐々に増えて、2011年から急増した。2014年7月には、宮崎県で初となる宮崎市



「日経研調べご当地プレート」の一覧パネル

がご当地プレートを導入して、47都道府県すべてにおいて、ご当地プレートが登場した。年内には、300市区町村に達する見通しである。なお、当財団は、2011年4月より、ホームページ「日経研調べご当地プレート」にて、ご当地プレートの一覧掲示を行っている。

今回の展示は、公表情報をもとに、当財団にて調べたもので、2014年5月20日時点で交付済の274市区町村、285プレート（9市区町村が2種類、1市区町村が3種類のプレートを作成）を、地方毎に並べている。



展示の様子（霞ヶ関・中央合同庁舎第2号館 1階玄関ロビー）

3. オリジナルなデザインで地域PR

一覧パネルは、5枚の布製グラフィックをパーツで連結したもので、幅4.2メートル、高さ2.4メートルである。まちおこしや地域PRの観点から、地方自治体によって表現されたオリジナルのデザインが一堂に並んだ一覧パネルをながめると、今まで気がつかなかった新たな発見や、地域同士の共通点が浮かび上がってくるなど、興味深い。

地域で認められたデザインが、ナンバープレート、シール、絵葉書など、多様な媒体を通じて、広がっていくことは、地域の魅力を高めていく一助になる、と考えている。

参考文献

清水希容子「地域研究－原付バイクのご当地プレートにみる地域振興」『日経研月報』2013年12月号、vol.426

ホームページ

「日経研調べご当地プレート」
<http://www.jeri.or.jp/center/myplate/index.html>

日経研調べ
ご当地プレート
 原付バイクの
 デザインナンバープレート

何の絵が
 描いてある？

道後・松山市
 A 1234

全国のご当地プレートには
 名産品、景勝地、キャラクターなどが
 描かれています。

見るだけでも楽しめますが、
 何が描いてあるか分かるかな？

展示しているプレート画像は、公表情報をもとに、一般財団法人日本経研研究所 地域未来研究センターにて調べたものです（平成26年5月20日時点で交付済のもの）。
 展示につきましては、各自治体から再確認をいただいております。